

## 水産業競争力強化緊急施設整備事業事後評価報告書

			北海道水産林務部漁業管理課		
目的	水産資源の持続的な利用・管理の推進				
目標	資源増養殖目標	28-6			
事業実施主体	（一社）胆振管内さけ・ます増殖事業協会				
実施地区	胆振太平洋地区（苫小牧市）				
実施期間及び目標年度	実施期間	目標年度			
	平成28年度	令和2年度			
助成金額	32,400千円				
事業計画の内容	<p>当該地区におけるサケ資源は人工ふ化放流計画に基づく増殖事業を持続的に実施することで安定的に維持されてきたが、広域浜プランにおいて「サケ放流尾数の安定確保及び回帰率の向上」を目標に掲げている。</p> <p>しかし、錦多峰ふ化場は地域のサケ稚魚生産施設として重要な役割を担っているが、施設構造が古く飼育面積も不足しているため、移送飼育によるストレスや魚体のスレに伴う魚病の誘発から、健苗性や回帰率の低下を招き、資源増大の支障となっている。</p> <p>このため、錦多峰ふ化場を整備し飼育環境を向上することで、生残率や回帰率の高い健康なサケ稚魚の生産が可能となり、サケ資源の増大による漁業者所得の向上や漁村の活性化にも繋がることから、地域水産業の競争力強化が図られるものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・飼育池：新設（拡大）</li> <li>・付帯施設：給水設備、自動池掃除機、消毒用水槽、稚魚移送ポンプ</li> </ul> <p>（添付資料1）事業概要 （添付資料2）平成28年度事業計画 （添付資料3）財産管理台帳</p>				
評価	取組の目標（KPI）				
	基準年	（平成25年時点）漁業所得	4,108千円		
		現状値	（令和2年度末）漁業所得	4,599千円	増加率 12.0%
		目標値	（平成30年度末）漁業所得	4,527千円	増加率 10.2%
	成果目標	施設整備によるサケ稚魚放流数の維持、健康な種苗生産による回帰率向上 （放流計画数3,700千尾の維持、漁獲数318.2千尾（回帰率8.6%））			
		現状値	（令和2年度末時点）稚魚放流数4,240千尾 ※施設整備後に放流した稚魚の回帰はR3以降となるため漁獲数は未評価。		
	目標値	（令和2年度）放流計画数3,700千尾、漁獲数325.6千尾（回帰率8.8%）			
	（1）現状値の説明	平成28年度に施設を整備（H29供用開始）した錦多峰ふ化場においては、供用開始後は継続して事業が行われ、令和2年度末時点の放流数は4,240千尾となっており目標を達成しているが、漁獲数については本施設整備後に放流した稚魚が親魚として回帰するのが令和3年度以降であるため、漁獲数については未評価となった。			
	（2）地域への経済効果（ハード事業のみ）	これら種苗生産能力の維持により今後も継続して健康な稚魚を放流できる体制が整っていることから、当該地区におけるサケ資源造成に大きく貢献し、回帰年における漁価所得向上も期待される。			
	（3）所見	施設整備計画のとおり施設整備を行い、供用開始後は有効に利用され、放流計画数は目標を達成しているものの、漁獲数については本施設整備後に放流したサケ稚魚が親魚として回帰する令和3年度以降となるため未評価であり、今後、改善計画等で評価が必要と思われる。			
（4）評価機関への意見等					
今後の改善方向等に関する分析	整備した施設を今後も継続して使用し、安定的なサケ稚魚の放流を実施していくことにより、サケ資源の増大と地域水産業の競争力を強化する。				